

12月定例会の議案質疑等の内容

12月定例会（11月21日から12月13日まで開催）では、市長提出議案25件のほか、請願1件を審議しました。質疑・討論の主な内容は下記のとおりです。議案の結果については、6ページをご覧ください。

一般職職員の給与に関する条例の一部改正

趣旨 県人事委員会勧告に準じ、一般職職員の期末手当・勤勉手当の支給月数の他、初任給を始めとした給与の改定
問 今回の人事委員会勧告の特徴点は、

答 初任給を始め若年層に重点を置きつつ、中高年齢層も引き上げをするという改定。初任給は、大卒が1万1千円増、高校・短大卒が1万2千円増。

問 高卒の初任給が、最低賃金を下回る地域があると指摘されている。市の状況は、

答 最低賃金を下回るような状況はないと捉えている。

問 歳出にどのくらいの影響が出るのか。

答 平均改定率1・25%の引き上げとなり、平均月額3850円増となる。全体で約3515万9千円となる。

国民健康保険条例の一部改正

趣旨 6年度の後期高齢者支援金等の課税限度額20万円を22万円に改定。また、5年11月以降に出産または出産予定の被保険者の国民健康保険税を、出産予定月または出産月の前月から4か月相当分の所得割、均等割を免除する。

問 今回の課税限度額の2万円引き上げによって影響を受ける世帯数は。また、それによる保険料の増収額の見込みは。

答 試算では69世帯が対象となり、税収は約123万円の増額を見込んでいる。

農政総合推進協議会条例の一部改正

趣旨 市長の諮問に応じ、農政に関する事項を審議する農政総合推進協議会について、農政の現状や組織の実態に合わせ、審議事項、委員数、組織構成、委員の任期を改正する。

問 委員数を21人から13人に削減する理由は。

答 条例の制定された平成17年、市町村の合併にあたり、旧秩父市の人数に町村の人数を乗せて条例上21人としたが、当時から実際は14人で委員会を運営していた。今の協議会の運営に即する形にする。

一般会計補正予算(第6回)

問 歳入のうち、こども政策推進事業費補助金の内容は。

答 5年度から2か年で策定予定の「秩父市こども計画」策定のための補助金である。

問 姉妹都市・友好都市交流事業について、減額理由は。

答 タイ国ヤソトン市との交流中止に伴う減額補正である。

問 システム改修委託料について、マイナンバー関連システムにおいて、氏名欄にローマ字・振り仮名表記等の改修が行われるとのことであるが、市民における取扱いの変更点等はあるのか。

答 氏名欄に振り仮名等が記載される期日は先であり、今回のシステム改修に伴う市民の取扱いの変更はない。

問 影森グラウンド測量調査業務等委託料について、全体の用地を確認するためとのことであるが、現在進められている影森グラウンドを人工芝生とする事業との関係は。

答 現在、影森グラウンド多目的グラウンド改修工事を実施しているが、改修後の利用拡大を想定し、付帯設備としてトイレ改修や観客席などの設計業務準備のため、さまざまな調整および調査を実施してきた。その際、影森グラウンド敷地内に国有地が存在することが判明した。国有地の移管手続きのため、正確な測量図が必要となり実施する。

問 文化体育センター第2アリーナ大規模改修工事設計業務委託料の内容は。

答 当初予算で計上した予算に加え、耐震対策を実施しなければならぬことが判明し、不足する予算を計上する。



の様子（本庁舎4階）



文化体育センター第2アリーナ

問 図書館管理運営事業寄附金1千万円について、経緯および支出の予定は。

答 図書館を利用していただく人の意向に沿って、その親族からご寄附いただいた。本の購入も含めた図書館費の予算に充当したい。

問 日中一時支援事業補助金の内容は。

答 医療的ケアが必要な在宅重症心身障害児の家族に対する在宅重症心身障害児レスパイトケア事業の補助金を増額するもので、在宅重症心身障害児を受け入れた施設に1日2万円を補助する。

問 医療的ケア児者受入設備整備事業補助金の内容は。

答 医療的ケア児が地域で安心して生活できる体制を整備することを目的に、障害児通所支援事業所および生活介護事業所が、在宅の医療的ケア児・者を新たに受け入れるための改修および専用ベッド等の備品購入費用に対する助成。

討論

反対

政府は、マイナンバーの最大の狙いを、国民の所得を正しく把握し、税や保険料を公平・公正に負担してもらうた

めだとしている。こうした国民への税金の取り立ては厳しく強化する一方で、政治資金パーティー券による巨額な裏金づくりが明るみに出ており、信頼のできない政権が進める施策が、国民の支持を得られない道理がない。マイナンバー制度に反対の立場から、この予算に反対する。

反対

マイナンバーカードは、個人情報漏洩が危惧され、それを払拭することができない。制度自体、国民の税・社会保障情報を一元的に管理するもので、徹底した給付削減の実行で、国の財政負担と大企業の社会保障負担の削減を目的としている。マイナンバーカードの利用拡大に反対する。

賛成

影森グラウンド測量調査業務等委託について、こういった基礎調査は、実質的な整備前に完了しておくべきであると考え。計画性を持った事業着手と、将来的な運営ビジョンの公表を願う。進捗状況等の報告を適宜行うなど、議会と市民の理解を得ながら、事業完遂に努めていただきたい。また、文化体育センター第2アリーナ大規模改修工事



12月定例会本会議

国へ「改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の継続を求める意見書」の提出を求める請願

討論

賛成

世論調査によると7割を超える国民がマイナ保険証に対して延期や反対の声を上げている。各地の議会からも国へ意見書が出されており、秩父市議会へ宛てて、請願と同様の趣旨の陳情書も提出されている。健康保険証が廃止されれば、マイナンバーカードを

持たない人は公的保険診療から遠ざけられる結果となり、国民皆保険制度が脅かされる危険性がある。患者も、医療機関も望んでいないマイナンバーカードとの一本化は見直し、現行の保険証を残すように働きかけて欲しいという趣旨に賛同し、賛成する。

反対

紙の保険証では認証システムが伴わないため、なりすましによる利用が横行していると、既に20年前から指摘されており、5年7月にはデジタル庁から「保険情報の誤りや不正使用により、年間500万件の差し戻しがある。」との報告もあった。マイナ保険証は、こうした過去の事実を踏まえ、正確な保険証利用に向けた取り組みであるものとし、マイナンバーカードを持たない方が、安心して医療が受けられるための資格認定証の発行を正確に行うことが重要と考え、請願提出には反対する。



秩父市議会
ホームページを
ぜひご覧ください

議会では市民の皆さんの生活に密着した事案が審議されています。

市議会ホームページでは、定例会等の日程や審議する議案、過去の会議録や録画中継映像などをいつでも確認することができます。

また、議員名簿や議会だよりのバックナンバー等も掲載しています。

左の二次元コードから、または「秩父市議会」で検索して、ぜひご覧ください。



秩父市議会 検索

